

| | | | |
|-----|------|-------|-------|
| 科目名 | 学外実習 | 科目コード | A0250 |
|-----|------|-------|-------|

| | |
|----------|-------------------------------|
| 学科名・学年 | 全専攻・1年（プログラム3年） |
| 担当教員 | 専攻主任・学科長・（専攻科長） |
| 区分・単位数 | 必修・2単位 |
| 開講時期・時間数 | 前期，90時間【内訳：講義0，演習0，実験0，その他90】 |
| 教科書 | |
| 補助教材 | 学外実習の手引，ガイダンス資料 |
| 参考書 | |

【A．科目の概要と関連性】

夏季休暇中に企業の生産・研究部門、または公立の試験研究機関において、専攻分野に関連したテーマについて研修する。特に、製品化・実用化を目指した技術開発を体験することにより、研究の実践を定着させることを目標とする。学外実習終了後の成果報告会でプレゼンテーションを行う。

関連する科目：企業実習（事前履修、選択）、地域産業と技術（事後履修1年後期）、特別研究

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(F)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

| 到達目標 | 評価の重み | 学習・教育目標との関連 |
|------------------|-------|-------------|
| 職業意識を身につける。 | 40% | F1 |
| 企業活動の実際を理解する。 | 40% | F2 |
| 技術者としての人間性を養成する。 | 20% | A3 |

【C．履修上の注意】

企業の社内規律や就業規則などの諸規則を守り、また企業の実習責任者の指示に従い、細心の注意を払って安全作業に心がけること。実習先では、社会人として良識を持って行動すること。実際の企業で就業体験を積むことは、将来の進路を考える上でよい経験となるので、積極的に取り組むことが必要である。

【D．評価方法】

レポート（100%）

企業の実習責任者から提出される実習証明書(60)、実習生が実習終了後に提出する実習報告書(40)の割合で到達目標に対する理解の程度で評価する。60点以上を合格とする。

【E．授業計画・内容】

・ 夏期休業中に2週間以上にわたり90時間以上実施する。

(2週間10日では80時間しか確保できないため、残りの10時間分は学外実習ガイダンスへの参加、実習報告会への参加・報告、報告書作成で補充する。)

・ 学外実習ガイダンスには必ず出席し、実習手続きや実習における注意事項などを理解する。

・ 学外実習者は、必ず傷害保険に加入する。

・ 実習機関には実習責任者を経て下記の書類を提出する。

(1) 学外実習申込書

(2) 誓約書

(3) 専攻科学外実習証明書

(4) 実習機関が必要とする書類

・ 実習終了後には、定められた期日までに指定された次の書類を指導教員を経て学外実習実施責任者に提出する。

(1) 専攻科学外実習証明書

(2) 専攻科学外実習報告書

(3) 学外実習日誌

・ 専攻毎(または学科毎)に実施される報告会において発表を行う。